

# EduMed活動報告

2024.10.09

# EduMedの活動方針

入院中の子どもたちのQOL向上に寄与するとともに、医療スタッフや家族以外の第三者のかかわりをつくり子どもが子どもでいられる関係・時間をつくる。また、学生に入院児や慢性疾患のある子どもの実態について体験的に知る機会をつくることで多職種連携や実践現場で様々な子どもの支援について理解を深める。

## 昨年度活動時の課題

- ・ 広報的な活動ができておらず、活動を知ってもらうことから始める事が優先
- ・ ニーズの把握を十分にできておらず、打ち手が先行してしまった可能性がある

# 前期の活動報告

## 【活動成果】

1. 北信地域の病院にアンケートを送付・結果

2. 信州大学医学部附属病院にてモルック体験イベント

3. 長野赤十字病院にて中学生の学習支援

# アンケートの結果

送付した9件のうち、返送していただいたのは3件

- 入院しているお子さんの中で学習支援が必要なお子さん
  - 信大病院のみ6名 院内学級で学習中
- 入院しているお子さんの中で交流支援を希望するお子さん
  - いない
- オンラインでの交流が可能かどうか
  - 信大のみ可能、その他病院は不可
- 入院中のお子さん
  - 小学生4名、中学生6名、高校生1名（3病院のうち2病院の合計）

支援ニーズが無い？

病院でも入院児の  
支援ニーズを把握し  
きれてない？

## アンケートからわかったこと

- コロナをきっかけにボランティア活動を中止し、受け入れ再開をしていない
- 院内学級がある場合は学習の対応が取れているが、その他病院の現状は不明
- オンラインでの活動ができるほど、ネットワークの環境が整ってはいない
- 入院中の児童生徒はいるものの、かなり少数であること

⇒活動自体を見直し、誰にどんな支援を届けるかを考え直すきっかけに

# モルック体験イベント

信州大学医学部附属病院にてモルックのイベントを実施

## 参加したお子さんの声

- ・倒したときの爽快感と、みんなで盛り上がったのが楽しかった
- ・いい勝負になってよかった

## 参加した先生の声

・治療が長引き、最近元気のなかった子が、久しぶりに笑顔になってくれて良かった

⇒ こどもらしい時間の創出が達成できた実践結果となった

**モルック**   
やってみよう!

モルックとは  
木の棒を投げて  
番号のついた棒を  
倒しながら点数を集め、  
50点を目標して  
遊ぶゲーム

**9.19** 水 10:00-11:30  
場所: 信州大学医学部附属病院 院内学級

やること  
①モルックってなに?  
②投げてみよう!  
③チームで対戦!

EduMed  
信州大学の学生による入院児  
支援をしている有志団体です

# モルックの体験イベント

## 初めてボランティアに参加した学生の声

- ・思った以上に「普通」だった
- ・点滴の位置を常に確認しなければならず、大変そうだった

⇒ 少しずつではあるが、入院児とかかわる経験が増えていくことで  
理解の広がりも期待できる

# 学習支援

長野赤十字病院にて、経過入院をしたお子さんに、学習支援を実施

## お子さんの声

中3だし受験も控えている、苦手教科の勉強を進められてよかった

## 病院の看護師さんからの声

- ・看護師がみられない部分について、詳細に報告していただき、ありがたかった
- ・将来の展望を聞いて、患児に対して新たな視点を持つことができた
  - ⇒ 学習支援を継続していくことの意義をより実感することができた



# 課題となったこと・今後の展望

## ◎ 病院からニーズは拾いにくい

→ 学校の先生はどうだろうか？

- ▶ まずは広報（チラシ発送）に取り組む
- ▶ 学校の先生で困っている先生がいたら

ロボットの使用も含めて支援方法の提案をしたい

## ◎ イベント内容の幅

→ 社会経験ができそうなイベントを企画・運営（例：社会科見学など）

- ▶ いろいろな方々も巻き込みながら実践を広げていきたい